公 共 事 業 新 規 評 価 調 書 （維 持 系）

様式3

本部・部名	県土づくり本部	課　　　名	河川砂防課	記入責任者 （担当者名）	河川砂防課長　前田　常明 （岡村　康孝）
種　　別	ダ　　ム	事 業 区 分	維 持 管 理	事 業 名	ダム施設修繕費

事業目的	県管理のダム施設において、老朽化または破損により本来の機能を果たしていない施設や機能が低下している施設等、ダム管理に支障を来す恐れがある施設の修繕・改良・更新を行い、安全・安心の確保を図ることを目的とする。

定性評価	自然環境保全	既存設備の更新を行うため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	現場作業においては、排ガス対策型機械の使用し大気汚染に配慮する。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	そ の 他	

注）（　　）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所 在 地		事 業 費		公共単独の別	完成予定年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果						評価視点：実施環境					評価	判断
								評価指標：点検診断結果による判定		評価指標：点検診断結果による判定		計	評価指標：構造上の課題			評価指標：破損錆の目視判断		計	評価指標：想定被害区域の状況		評価指標：操作性により判定		計		
		市町村名	大字等	総事業費（百万円）	H28要望額（百万円）			専門業者による診断点検報告	小計	対象機器の重要度	小計		設置年からの経過	前回修繕からの経過	小計	破損箇所の有無及び錆の度合い	小計		土地家屋等の保全	小計	操作性	小計			
								(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(20)	(80)	(20)	(20)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)		
1	岩屋川内ダム	嬉野市嬉野町	岩屋川内	50	50	単独	28	60	60	40	40	100	50	20	70	0	0	70	60	60	40	40	100	AAB	Ⅰ